

児童・生徒の現状・課題

- 全国学力・学習状況調査の結果から、家庭学習における1時間以上の割合は、全国平均を上回った。
- 全国学力・学習状況調査の結果から、「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問事項は、全国平均および東京都平均を大きく下回っており、学び方に困っている生徒が多い。
- 生徒のコミュニケーション能力に差があり、考えを深める学びへつなげることが難しい。



学び続ける力を育むための重点目標

- 生徒が毎時間の授業を通して「分かる」「できる」授業を追求する。
- 学習形態を配慮した上で、生徒同士が学び合い、自ら学びを「見直す」時間を設定する。
- 生徒が授業を通して、何を理解(習得)したか「振り返る」時間を設定し、教師からは効果的なフィードバックをする。



具体的な手だて①

学習内容や学習計画を単元の初めに示し、見直しをもたせる。

具体的な手だて②

「見通す→選択する→見直す→振り返る」場面を授業に取り入れ、理解度や進捗状況を自ら確認し、修正しながら学習できるようにする。

具体的な手だて③

研究主題は「生徒の学び続ける力の育成に向けた授業改革～生徒の学習調整の力を伸長し、より高度な学びの実現を目指して～」とし、7月と9月に生徒の学び続ける力を高めるための研究授業を実施し、観察・協議することで実践的指導力を養う。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

「課題設定」「学習形態」「場所・道具」「情報収集」「まとめ・伝達」「振り返り」の6つの視点から教師がねらいをもって適切に「選択する」場面を設定する。その際は、UDの視点に立ち、生徒がどの視点で選択をするのかを明確にするため、マグネットシートを黒板に提示する。また、理解度や進捗状況を自ら確認し、修正しながら学習できるように授業ごとに学習の見直し・振り返りの設定をする。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	69.2	70.0	
②授業のはじめには、これまで学習したことを振り返ったり、取り組む課題やめあてを確認したりしている。	69.5	70.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	74.4	75.0	
②授業では、児童・生徒が選択した学びを、相互で共有したり、見直し・修正したりする場面を設定している。	74.4	75.0	

総括(〇月)

総括(1月)